

第5回日本時間生物学会学術奨励賞公募のお知らせ

この制度は時間生物学領域で顕著な業績をあげ、今後の活躍が期待される若手研究者を表彰するためのもので、年齢37歳までの方を対象とし、原則として基礎・科学部門1名、臨床・社会部門1名の計2名を表彰することになっております。自薦・他薦を問いませんので、第5回学術奨励賞へどしどしご応募ください。応募にあたっては下記の様式に従った記入をお願いいたします。なお、本年度より審査部門の選択を記述していただくことになりました。

■締め切り：平成19年8月31日（金）必着

■あて先：〒202-0021 西東京市東伏見2-7-5

早稲田大学理工学部、電気・情報生命工学科薬理研究室内

日本時間生物学会事務局 柴田 重信

日本時間生物学会学術奨励賞選考委員長

大川匡子（滋賀医科大学）

時間生物学会学術奨励賞候補者調書

1. 希望審査部門：

（ふりがな）

2. 氏名：

3. 生年月日：

4. 現職：

5. 最終学歴ならびに職歴：

6. 学会での表彰歴：

7. 本件に関する連絡担当者名：

8. 業績

1) 研究の名称：

2) 研究の内容：

・

・

3) 時間生物学に対するこれまでの貢献と今後の可能性（具体的に分かり易く記述すること）：

4) 論文リスト（ピアレビューのある原著論文のみ）

第14回日本時間生物学会学術大会のお知らせ

1. 開催概要

期間：2007年（平成19年）11月7日（水）～11月9日（金）

*日本睡眠学会第32回定期学術集会との合同開催となります。

会場：京王プラザホテル

〒160-8330 東京都新宿区西新宿2-2-1 03-3344-0111（代表）

<http://www.keioplaza.co.jp/>

メインテーマ：「睡眠と生物時計の理解に向けて」

*プログラムの詳細はホームページでご案内します。

<http://www.c-linkage.co.jp/jssr-jsc2007/>

2. 演題および抄録のオンライン登録について

本学術大会ではUMINを使用したオンライン演題登録となります。別紙演題募集要項をご参照下さい。合同で16のシンポジウムを予定し、一般演題はすべてポスターセッションを予定しております。

*演題登録期間：2007年6月1日（金）～7月31日（火）（予定）

3. 事前登録のお知らせ

本学術大会では事前登録を行います。ホームページからのオンライン登録のみとなります。詳細につきましてはホームページをご参照下さい。

*事前登録期間：2007年6月1日（金）～9月14日（金）（予定）

4. 宿泊の斡旋について

ホームページにて6月下旬よりご案内いたします。

第14回日本時間生物学会学術大会会長

高橋 敏治（法政大学文学部心理学科教授）

同 副会長

伊藤 洋（東京慈恵会医科大学附属青戸病院院長）

<連絡先>

日本睡眠学会第32回定期学術集会・第14回日本時間生物学会学術大会合同大会事務局

〒102-0075 東京都千代田区三番町2 三番町KSビル

株式会社コンベンション リンケージ内

TEL 03-3263-8688 FAX 03-3263-8693

E-mail: jssr-jsc2007@c-linkage.co.jp

*大会ポスターを同封させていただきましたので貴施設内にご掲示頂き、大会告知にご協力下さいますようお願い申し上げます。

第2回国際時間生物学会

本間研一

WFSC会長

世界時間生物学会連合 (World Federation of Societies for Chronobiology: WFSC) の学術会議である国際時間生物学会 (World Congress of Chronobiology: WCC) の第2回大会が、日本時間生物学会主催、大塚邦明会長のもと、本年11月4-6日東京王プラザホテルで、日本時間生物学会・日本睡眠学会合同学術大会と連携して開催されます。

本大会は、当初Society for Research on Biological Rhythms (SRBR) が主催する予定でしたが、急遽、日本睡眠学会が第1回に続いてお世話することになりました。WFSC理事会での最終決定が昨年12月上旬であり、組織作りや会場準備に忙殺されていたことから、会員へのご報告が遅れたことをお詫びします。大会運営は主として東京在住の理事にお願いしました。

WFSCは2001年に、日本時間生物学会のイニシアチブのもとに、SRBR、ISCなどの時間生物学に関する各国の学会を結ぶ国際組織として誕生しました。

そして、第1回国際時間生物学会が2003年、札幌市において成功裏に開催されたことは記憶に新しいところです。WFSCの理念は、学際的な学問である時間生物学をさらに発展させるため、それぞれ特徴のある学会や会員の交流の場を提供することにあります。日本時間生物学会はその接着剤として、第2回大会も主催することになりました。今回は、新たにアジアの時間生物学者との交流を心がけています。

大会の詳細については、すでにHP (http://www.ec-japan.jp/wcc2007_1/index.html) で紹介されています。会期は実質2日間で、時間生物・睡眠学会合同大会の直前となっています。高橋敏治時間生物学会大会長、大井田隆日本睡眠学会大会長の全面的な協力を得、合同大会との連携を図る目的で、WCCへの参加者は合同大会にも無料で参加できます (参加登録は共通)。また、懇親会も合同で行われます。UMINによる演題募集が5月から開始されます。多くの会員がWCCに参加し、会を盛り上げて下さい。